

インフラメンテナンス国民会議 自治体支援フォーラム
～インフラ老朽化時代におけるレジリエントな郡山を目指して～
プログラム

日時：平成29年6月2日（金） 10:00～17:00
 会場：郡山市役所 本庁舎2F 正庁（現地視察：郡山市内）

開始時間	議事
10:00	(1) 開会挨拶
10:05	(2) 郡山市長挨拶
10:10	(3) 趣旨説明、メンター紹介（国土交通省）
10:20	(4) 現地視察等の説明（郡山市）
10:30	(5) 現地視察
12:30	（休憩）
13:30	(6) メンター紹介、班別討議の進め方の説明（国土交通省）
13:40	(7) 班別討議① ～郡山市のインフラメンテナンスの現状・課題整理～
14:40	（休憩）
14:45	(8) 班別討議② ～課題解決のための今後の取組の方向性について議論～
15:45	(9) 各班発表
16:00	(10) 総評（メンター）
16:30	(11) 総括（郡山市）
16:35	(12) 閉会挨拶

※ 閉会后、17時まで会場を開放

インフラメンテナンス国民会議 自治体支援フォーラム
～インフラ老朽化時代におけるレジリエントな郡山を目指して～
配布資料一覧

- プログラム
- 配布資料一覧（本紙）
- 出席者名簿
- 資料1：郡山市説明資料
 - 資料1-1：郡山市公共施設等総合管理計画（概要版）
 - 資料1-2：郡山市橋梁長寿命化修繕計画（改訂）（案）
- 資料2：国土交通省説明資料
- 資料3：富山市 植野建設技術統括監 説明資料
- 資料4：日本大学 岩城教授 説明資料
- 参考資料：インフラメンテナンス国民会議運営上の知的財産の取扱いに関する事前の取り決めとなるガイドライン
- 自治体支援フォーラム参加同意書
- 国民会議 入会申込書

※現地視察関係資料、各班の班別討議参考資料は別冊



インフラメンテナンス国民会議 自治体支援フォーラム
～インフラ老朽化時代におけるレジリエントな郡山を目指して～
出席者名簿

<郡山市> (以下、敬称略)

No.	役 職	氏名
1	市長	品川 萬里
2	建設交通部長	村上 一郎

<メンター>

No.	所 属 役 職	氏名
1	日本大学 工学部 土木工学科 コンクリート工学研究室 教授	岩城 一郎
2	会津大学 産学イノベーションセンター、復興支援センター 教授	石橋 史朗
3	東日本高速道路(株) 建設・技術本部 専任役	七五三野 茂
4	富山市 建設技術統括監	植野 芳彦

<1 A班>個別施設計画の計画策定と実施(橋梁)

No.	所 属 役 職	氏名
1	郡山市 建設交通部 道路維持課 計画・通学路係長	石田 章也
2	郡山市 建設交通部 道路維持課 計画・通学路係 主任	星 晶夫
3	喜多方市 建設部建設課管理係 技査	秋山 賢哉
4	小野町 地域整備課 副主幹	宗方 保之
5	矢田工業(株) 設計部 部長(ふくしまインフラ長寿命化研究会)	菅野 通孝
6	(株)小野工業所 常務取締役生産管理本部長(ふくしまインフラ長寿命化研究会)	千田 浩明
7	NPO法人社会基盤ライフサイクルマネジメント研究会 理事	山中 鷹志
8	福見建設(株) 開発営業部(インフラメンテナンス国民会議 広報部会委員)	永田 善裕
9	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 日本工営(株) インフラマネジメント事業部 事業部長)	吉田 典明
10	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 大日本コンサルタント(株) インフラ技術研究所 税金エンジニアリング研究室・主任研究員)	小林 大
11	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 調整官	徳尾 英介
12	国土交通省 東北地方整備局 道路部 道路管理課 道路構造保全官	岩淵 敦

<1 B班>個別施設計画の計画策定と実施(道路舗装)

No.	所 属 役 職	氏名
1	郡山市 建設交通部 道路維持課 補修係長	石井 康弘
2	郡山市 建設交通部 道路維持課 補修係 主任	鈴木 日出光
3	鏡石町 都市建設課 事業グループ 主事	本田 光一
4	(株)郡山測量設計社 常務取締役(ふくしまインフラ長寿命化研究会)	小松 款
5	ニチレキ(株) 道路エンジニアリング部 課長代理(インフラメンテナンス国民会議 広報部会委員)	那珂 通大
6	ハンプレコーダー(株) 取締役社長	八木 浩一
7	(株)東芝 社会システム事業部 参事	熊倉 信行
8	東亜道路工業(株) 技術営業部長	阿部 長門
9	中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京(株) 経営企画部経営企画課課長	谷野 知伸
10	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 (株)ガイアート 道路維持戦略室 担当部長)	鈴木 泉
11	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 企画係長	古賀 博久
12	国土交通省 東北地方整備局 道路部 道路管理課 道路構造保全官	石津 健二

<2班>道路維持補修業務における地域建設業の連携やノウハウの活用方法の模索

No.	所 属 役 職	氏名
1	郡山市 建設交通部 道路維持課 課長補佐	乙川 貴司
2	郡山市 建設交通部 道路維持課 整備係長	川上 桂司
3	福島県 県中建設事務所 企画管理部 管理課・主任主査	小野田 誠
4	(株)ガイアート 総合評価対策室 技術管理部長	小島 孝一
5	(株)日水コン 経営企画本部・経営企画部担当部長	清水 康生
6	日本工営(株) アセットマネジメント技術部 部長	藤原 鉄朗
7	鹿島建設(株) 土木管理本部土木技術部 専任部長	横塚 雅実
8	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 合同会社スマートウォーター 代表社員CEO)	高橋 千里
9	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 (公社)日本ファンシיתיマネジメント協会インフラマネジメント研究部会 副部会長)	岩佐 宏一
10	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 (株)熊谷組 経営企画本部 副本部長)	大島 邦彦
11	国土交通省 東北地方整備局 企画部 企画課 課長補佐	桐山 久夫

<3班>市民参画の可能性

No.	所 属 役 職	氏名
1	郡山市 建設交通部 道路維持課 課長	今泉 勝生
2	郡山市 建設交通部 道路維持課 維持管理係長	齋藤 正樹
3	郡山市 建設交通部 道路維持課 維持管理係 主任	影山 正喜
4	郡山市 柴宮町内会 会長	橋本 和栄
5	陸奥テックコンサルタント(株) 技術第一部 課長(ふくしまインフラ長寿命化研究会)	佐藤 和憲
6	(株)インテグレートAMS	関 佳織
7	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 日鉄住金高炉セメント(株) S L事業部 事業部長)	永淵 強
8	インフラメンテナンス国民会議 実行委員(所属 大日本印刷(株) ソーシャルイノベーション研究所)	高澤 和幸
9	インフラメンテナンス国民会議 市民参画フォーラム事務局(所属 NPO法人シビルNPO連携プラットフォーム 常務理事)	有岡 正樹
10	国土交通省 大臣官房公共事業調査室 係長	森田 早紀

※ No. (番号) に塗りつぶしがある方が各班の進行(ファシリテーター)を担当

聴講・随行

No.	所属・役職	氏名
1	福島県 土木部道路管理課 副主査 (1A班)	星 のりこ
2	喜多市 建設部建設課管理係 技師 (1A班)	小楡山 成一郎
3	双葉郡葛尾村 地域振興課地域整備係 主査 (1A班)	伊奈 崇
4	相馬市 建設部土木課 主査 (1A班)	小泉 貴志
5	相馬市 建設部都市整備課 主査 (1A班)	日下 陽介
6	矢田工業(株) 技術部 部長 (1A班)	矢吹 敏雄
7	(株)小野工業所 常務取締役営業統括本部長 (1A班)	臼田 総一郎
8	塙町まち整備課 主任主事 (1B班)	佐藤 行成
9	陸奥テックコンサルタント(株) 技術第二部 課長 (1B班)	吉成 満
10	(株)郡山測量設計社 設計部 設計課 課長 (1B班)	大越 成実
11	東亜道路工業(株) 技術研究所 第4研究室・主任研究員 (1B班)	増戸 洋幸
12	大日本コンサルタント(株) 東北支社構造保全計画室・主幹 (1B班)	斎藤 宙
13	福島ニテレキ(株) 社長 (1B班)	小田原 慎
14	(株)東芝 社会システム事業部新規ソリューション開発推進部 部長代理 (1B班)	近藤 浩一
15	福島県 土木部道路管理課 副主査 (2班)	熊坂 秀人
16	日本工営(株) アセットマネジメント技術部 技師 (2班)	横山 隼佑
17	(株)ガイアート 東北支店 福島営業所長 (2班)	原田 紀彰
18	塙町まち整備課 主査 (2班)	神永 亘
19	郡山地区建設業協同組合 専務理事 (2班)	宗形 和雄
20	日本大学 工学部 土木工学科 コンクリート工学研究室	浅野 和香奈

事務局

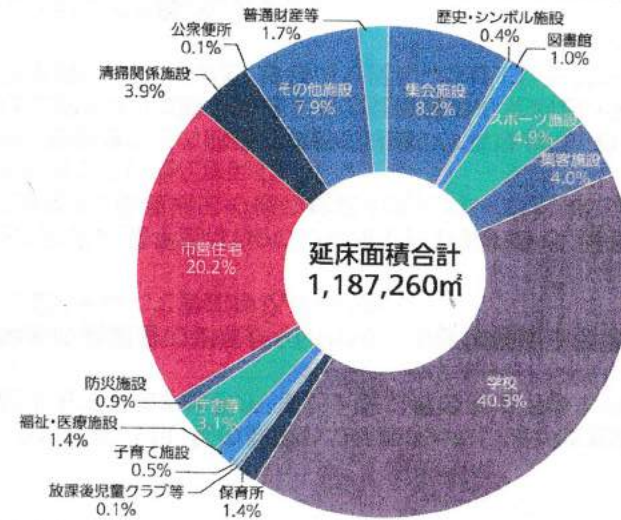
No.	所属・役職	氏名
1	国土交通省 総合政策局 事業総括調整官	鈴木 学
2	国土交通省 総合政策局 公共事業企画調整課 交流連携事業調整官	安原 達
3	国土交通省 東北地方整備局 企画部 環境調整官	立花 義則

郡山市(班別討議参加者除く)2名、メンター4名、班別討議参加者45名、聴講・随行者20名、事務局3名 計74名

郡山市の現状と課題

▼公共施設の約60.5%が学校と市営住宅です。

▼施設類型別建物保有割合(公共施設分)

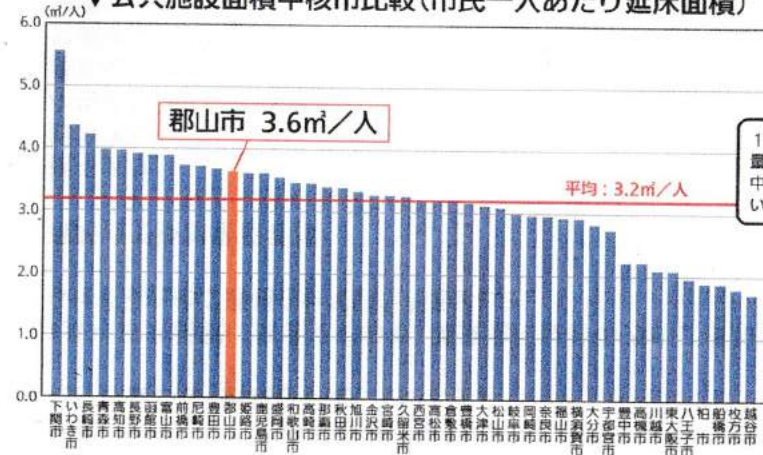


学校と市営住宅の割合が多いのは、全国的に同じ状況なんだよ。



▼公共施設は全国平均より多い保有量です。

▼公共施設面積中核市比較(市民一人あたり延床面積)



1人あたりの保有量は中核市45市の中でも12番目に多いんだって。

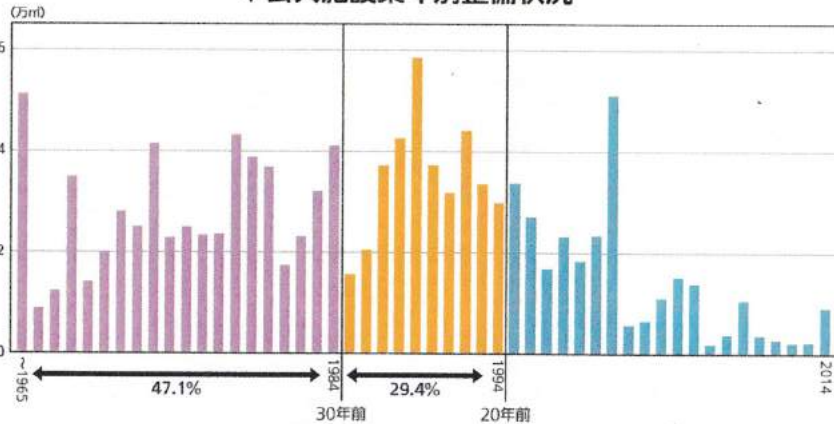


(注1)郡山市のデータは2015年3月31日現在(以下同じ)
 (注2)1市1市平均は平成26年度公共施設統計調査(2014年3月31日現在)による。
 (注3)市民一人あたり面積は、行政制度(公用財)に使用される財産の総量

郡山市の現状と課題

▼老朽化が着実に進んでいます。

▼公共施設築年別整備状況

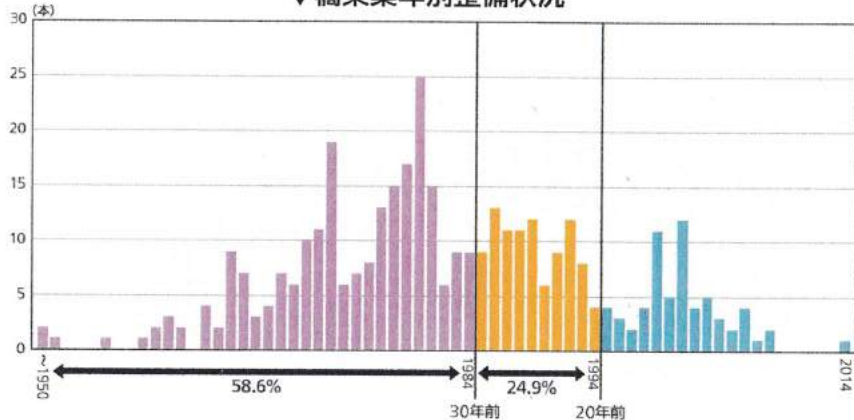


公共施設だけでなく、公園、上下水道、橋梁などのインフラ施設の建物も老朽化が進んでいるよ。今は大丈夫でも将来が心配だね。



大規模改修の検討対象になる築30年以上の公共施設は47.1%もあるのね。10年後には76.5%になっちゃうの!?

▼橋梁築年別整備状況

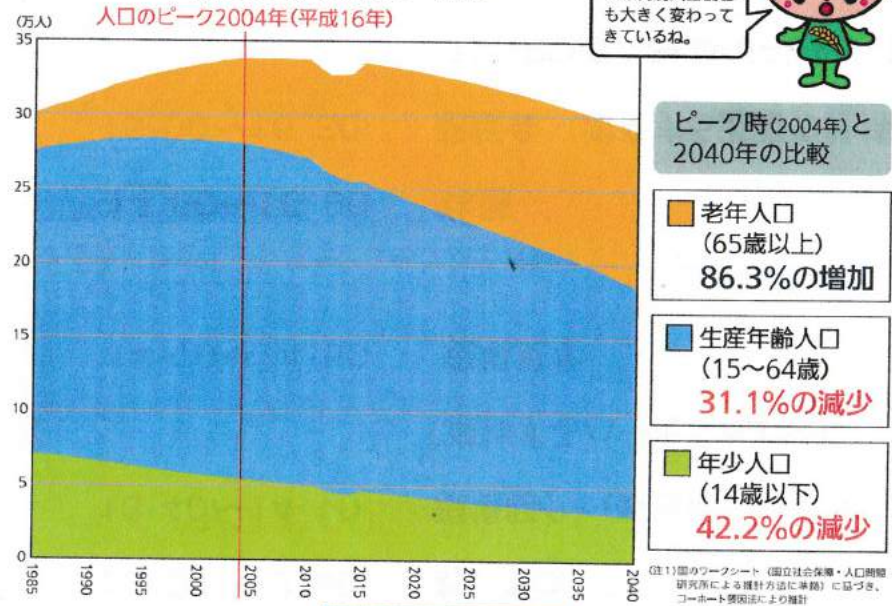


注1) 橋梁築年別整備状況は、全ての橋梁・トンネル12本のうち、築年が判明している382本の状況

郡山市の現状と課題

▼少子高齢化が進んでいます。

▼郡山市の人口推移・推計



高齢化が進むと…

- ◎納税対象者が少なくなり、市の収入が少なくなります。
- ◎福祉や医療にかかるお金が多くなります。

つまり…

これから施設にけることのできるお金は少なくなります。

施設をつくったときと年代別人口割合が違うから、施設のニーズも大きく変わってきているよね…

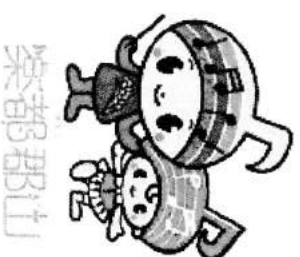


郡山市橋梁長寿命化修繕計画（改訂）

（案）

福島県 郡山市

平成 29 年度版



○「郡山市橋梁長寿命化修繕計画」の改訂を行いました。（平成29年度版）

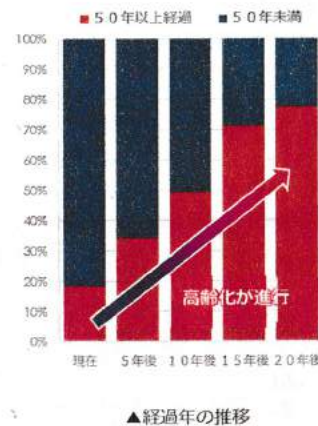
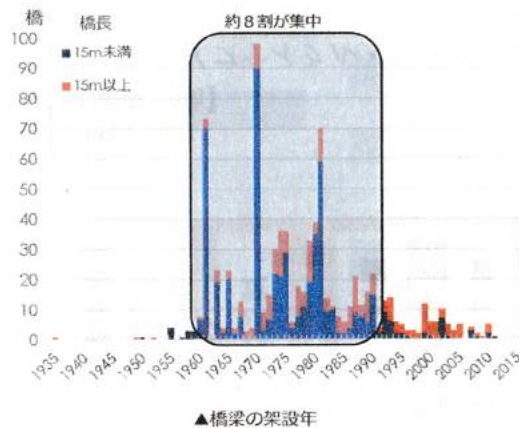
1. 橋梁長寿命化計画（改訂）の背景・課題・目的

【1】改訂の背景

- 本計画は、道路橋における安全の確保及びライフサイクルコストの削減を踏まえ、予防保全を基本とした施設の長寿命化を目的に平成27年3月に策定したものです。
- 平成29年度改訂版は、平成26年度以降に実施した点検データを用いて計画の検証を実施し、また、平成28年4月に発生した熊本地震の被災を踏まえて平成28年12月に道路法施行規則の一部改正がされたことを受け、計画的な点検・修繕の方法等を定めることになったことから、本計画を見直しました。

【2】橋梁の抱える現状と課題

- 道路や橋梁といった施設は、市民の生活に密着したもともと基本的な社会基盤です。
- 平成22年現在、郡山市では阿武隈川などの河川に架かる橋梁や高速道路などの道路を跨ぐ橋梁を807橋管理しています。
- 807橋のうち約8割の橋が、高度経済成長期の1960年頃から1990年頃までの30年に集中して建設されました。
- 今後、架替え等が行われないと、建設後50年以上の橋梁が急増し、橋梁の高齢化が懸念されます。
- 近年では平成24年12月に発生した中央自動車道笹子トンネルの老朽化に起因する重大事故を契機に、道路ストック管理の重要性が再認識されました。
- 今後、少子高齢化が進み、労働人口減少に伴うインフラへの投資の減少が懸念される中、従来通りの維持手法では、修繕・架替えに対する費用が膨大となるため、維持管理コストを低減させることが重要となります。



【3】目的

- 橋梁の定期点検により状態を把握し、補修・補強および架替えを計画的に進め、橋梁の長寿命化と補修・補強、架替えの費用削減を図るとともに、道路ネットワークと地域の安全・安心の確保を目的とします。

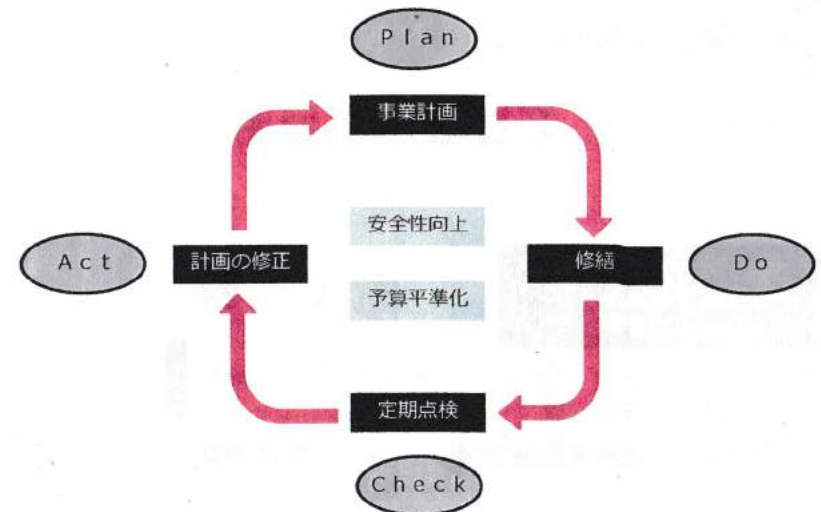
2. 長寿命化計画の対象橋梁

- 計画では、管理橋梁807橋の全橋梁を対象とします。

	緊急輸送路	1級市道	2級市道 その他市道	合計
全管理橋梁数	7	91	709	807橋
計画策定橋梁数	7	91	709	807橋

3. 長寿命化への基本方針

- 橋梁の長寿命化は、
「定期点検」→「事業計画」→「修繕」→「定期点検」→「計画の修正」→「事業計画」→・・・
の橋梁メンテナンスのPDCAサイクルに基づき行います。
- 計画的なPDCAサイクルを構成することで、安全性の向上や事業費予算の平準化を図ります。



▲橋梁メンテナンスのPDCAサイクル

3つのキーポイント

【1】橋梁の的確な状態把握

- 定期点検を、近接目視により5年に1回の頻度で行い、橋梁の詳細な状況把握を行います。
- また、点検結果の電子化を図り、今後の維持管理の基礎資料として蓄積していきます。
- 災害時などには必要に応じて臨時点検を行い、橋梁の異常・損傷に対していち早く対応します。

種類	頻度	実施体制	目的
日常点検	パトロール時に実施	職員	損傷の早期発見
定期点検	5年に1回程度	橋梁点検員等	損傷の進行状況の把握
詳細点検	必要に応じて	橋梁点検員等	損傷の詳細点検
臨時点検	災害時等必要に応じて	橋梁点検員等	異常・損傷の点検



▲橋梁点検車での点検



▲橋の上での点検

【2】計画的な対策による無駄の少ない維持管理

- 定期点検により、全ての橋梁の状態を把握・評価しながら中長期的な予測を行います。
- 予算制約の中で、**いつどのような対策をどの橋梁に行うのが最適であるか**を検討し、計画的にかつ効率的に管理を行います。
- 橋梁の健全度と重要度を加味した**修繕の優先順位付け**を行います。
- 橋梁の重要度に応じた、**対策工法の差別化**を図り、適切な維持管理を行います。

【3】日常的な維持管理

- 日頃の日常的な維持管理を徹底し、橋梁の長寿命化に努めます。
 - ・路面滞水の原因となる、排水柵の土砂撤去
 - ・橋梁前後の舗装の凹凸（ポットホール等）の修復など、点検時、パトロール時に実施していきます。



ポットホール